



# 第29回 長崎大学病院 ICLSコース 報告書



「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」

令和3年2月6日(土)開催

主催:長崎シミュレーション教育研究会  
共催:長崎大学病院 長崎外来医療教育室  
地域医療支援センター  
シミュレーションセンター  
救命救急センター

## 第 29 回 I C L S コース

### コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

### I C L S とは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。

身につける行動の目標は以下の通りです。

- ・蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- ・BLS(一次救命処置)に習熟する
- ・AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- ・心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- ・除細動の適応を判断できる
- ・電気ショックを安全かつ確実にこなうことができる
- ・状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- ・気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- ・状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- ・治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

### 実施結果

受講生12名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。

今回の受講生は、12名全員初期研修医(内、2名は2年次)であった。

スタッフ(コースディレクター1名、サブディレクター1名、インストラクター4名、アシスタント3名)計9名で、指導を行い、2ブースを問題なく運営した。

※スタッフ詳細はP.6

# 各ブースにおける感染予防対策



## 1. BLSブース

### 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・手技の前後に都度行う

### 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)

### 3) 備品消毒箇所

#### (1) マネキン

- ・胸部
- ・頸部
- ・顔面



#### (2) BVM

#### (3) AED

### 4) その他

- ・受講者2人につき、マネキン1体とする
- ・呼気吹き込みを行う人工呼吸の練習は割愛する



## 2. 気道管理ブース

### 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・手技の前後に都度行う

### 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・1手技終了後(フィードバックを受けていない受講者にも協力を依頼)

### 3) 備品消毒箇所

- ・気道管理マネキンの顔面
- ・経鼻カニューラ、酸素マスク、リザーバマスク
- ・エアウェイ
- ・喉頭鏡
- ・気管チューブ
- ・スタイレット
- ・赤シリンジ
- ・カフ圧計



### 4) その他

- ・窒息解除・声門上デバイスに関しては、全体に対して紹介説明のみ行う。

## 3. モニターブース

### 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・シナリオ開始時
- ・シナリオ終了時、着座前

## 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施

## 3) 備品消毒箇所

### (1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

### (2) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ



## 4. シナリオブース

### 1) 受講者・指導者手指消毒(ハセツパー水)のタイミング

- ・シナリオ開始時
- ・シナリオ終了時、着座前

### 2) 備品消毒(アルコール清拭)のタイミング

- ・セッション開始前(インスト全員で実施)
- ・シナリオ終了時(PC・タブレット操作者が実施)

※PC・タブレットの消毒は、次操作者が実施



### 3) 備品消毒箇所

#### (1) マネキン(上着を外す)

- ・胸骨圧迫部
- ・モニター装着部
- ・頸動脈部
- ・顔面

#### (2) BVM

#### (3) モニター付き除細動器

- ・両パドル
- ・リード
- ・スイッチ

#### (4) 輸液・薬剤

#### (5) 記録

- ・ホワイトボード
- ・ストップウォッチ
- ・マーカー
- ・イレーサー



# タイムテーブル

## 〈実施内容〉

開催日時	令和3年2月6日（土） 9：20～17：00
受講者数	12名
対象	初期研修医・診療科医師
場所	長崎大学病院 シミュレーションセンター

## 〈スケジュール〉

			グループ(A)	グループ(B)
09:00～09:20	20分	受付	シミュレーションセンター入口	
09:20～09:30	10分	オリエンテーション	多目的室	
09:30～10:10	40分	BLS+AED	シミュレーション室1	シミュレーション室2
10:10～10:20	10分	休憩・移動		
10:20～11:10	50分	気道管理/モニター	気道管理 シミュレーション室1	モニター シミュレーション室2
11:10～11:20	10分	休憩・移動		
11:20～12:10	50分	気道管理/モニター	モニター シミュレーション室2	気道管理 シミュレーション室1
12:10～13:00	50分	昼食		
13:00～13:10	10分	デモンストレーション+移動	BLS・ALSデモンストレーション シミュレーション室2	
13:10～14:20	70分	チーム蘇生 VF/VT	シミュレーション室1	シミュレーション室2
14:20～14:30	10分	休憩・移動		
14:30～15:20	50分	non VF/VT	シミュレーション室2	シミュレーション室1
15:20～15:30	10分	休憩・移動		
15:30～16:40	70分	メガコード	シミュレーション室2	シミュレーション室1
16:40～16:50	10分	移動		
16:50～17:00	10分	終了式・修了証授与式	終了式・修了証授与式 シミュレーション室1	

午前：気道管理

インストラクター：★石本 北山

アシスタント：白髭

午前：モニター

インストラクター：★山野 江川 前田

アシスタント：

午後

シミュ1

★石本 北山 白髭

シミュ2

★山野 江川 前田

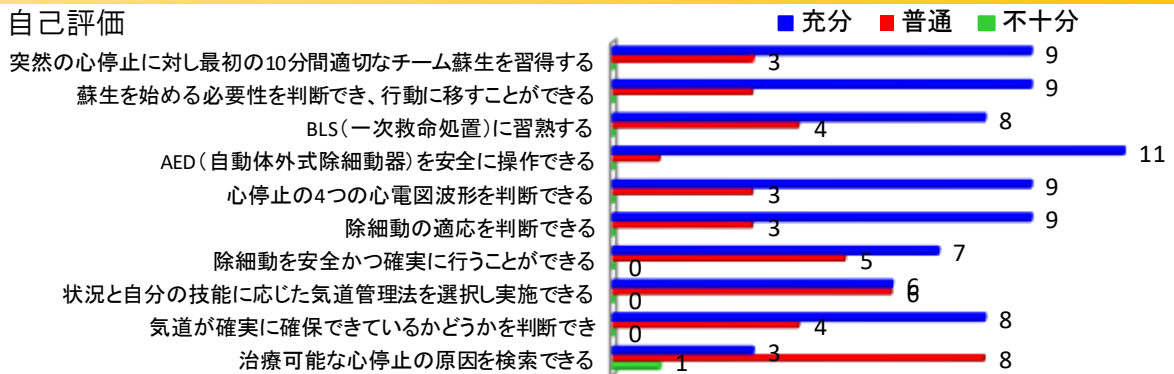


★ブースリーダー

# ◆アンケート◆ 受講生の声

## 1)到達項目について、到達できたと思いますか

### 自己評価



## 2)講習会を受けるまでの自分を振り返ってみて、講習会を受けた後の自分はどうか変わりましたか？

- 変わった！(2名)
- しっかりと初期の動き方が分かったと思います。
- まだ十分ではないかもしれませんが、これからも頑張って向上していきたいです。
- おどおどしなくなった。
- 少しは落ち着いて対応できるようになったと思う
- 少し自信ができたことは大きいです。
- 役割やプロトコルを認識できた。落ち着いて考えられるようになったと思う。
- 蘇生でやるべき行動1つ1つがぶつ切りでイメージされている状態だったが、講習会を受けて流れとして認識できるようになりました。
- 除細動の使い方や、どのようにして病態の原因を判断していくのかの、イメージがついた。
- 行動を起こすまでの時間が短くなった
- 流れが体に身につき、知識も深まりました。

## 3)カリキュラムについて、お尋ねします

### 講習時間



### 指導内容(量)



### 講習内容に対する 時間設定



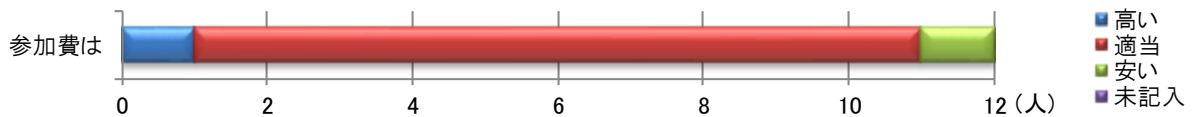
## 4)インストラクターに一言

- ありがとうございます 3名
- 大変お勉強になりました。ありがとうございます。
- 質問などに詳しく答えていただき、ありがとうございました。
- 個々のシナリオは手が込んでいるのに、手際良くファシリテートしていて、すごいと思いました。
- 実際に遭遇しそうなシチュエーションで訓練できた。
- よく分かりました、ありがとうございました。
- 熱心なご指導ありがとうございます。
- 貴重な時間を割いていただきありがとうございました。
- お忙しい中、丁寧でわかりやすいご指導いただき、本当にありがとうございました。
- 丁寧に優しく教えてくださって心強かったです。

## 5)設備(会場、資材、機材)、環境(温度、湿度、照明、雑音)について気になったこと

- とてもよい環境で実習させていただきました。
- 人形がよかったです
- 快適でした。お菓子が美味しかったです。
- おやつがあって嬉しかったです

## 6)参加費は・・・



## 7)その他、要望、改善点、気づいたことなどがありましたらお書きください

意見なし

## 8)今後、他の医療関係者にも、新しい蘇生法を広めるため、この会のスタッフに参加したいですか

インストラクター希望 2名

- ・ 北村可恋
- ・ 松坂雄亮



## ◆アンケート◆ スタッフの声

### 【受講生について】

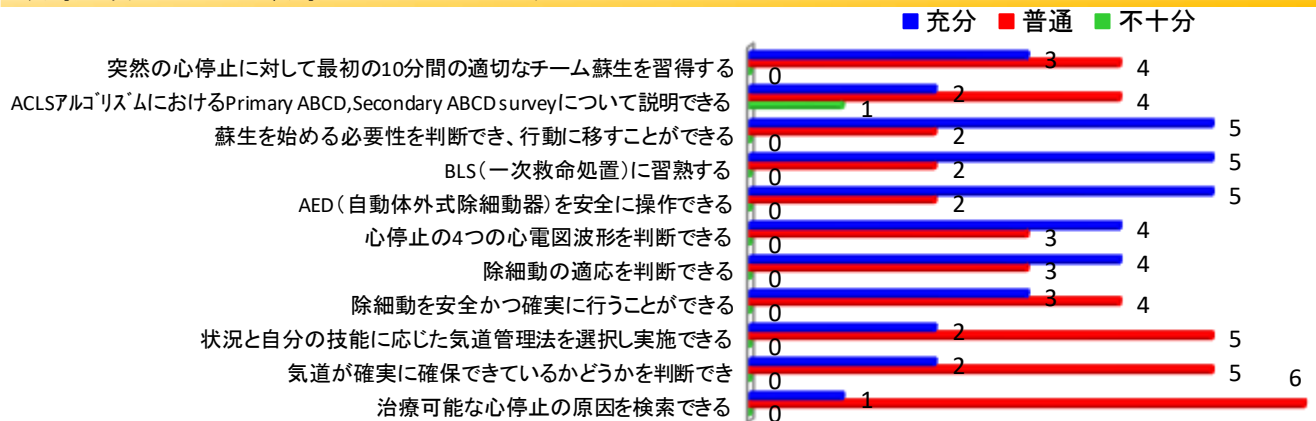
#### 1)受講者の態度・意欲はどうだったか？

- ・ 全体的に良い方
- ・ とてもよかった(2名)
- ・ 朝は人見知りな感じだったが、午後は声が出ていた。
- ・ 素直で良かったです
- ・ 意欲はありました(2名)

#### 2)予備知識(予習含む)はどうだったか？

- ・ バラつきあり。
- ・ 一部受講者は予習不足のように感じた。全体的には出来ていたと思う。
- ・ 恐らく全くしていない人もいたが、きちんと基礎が分かっている人もいた。
- ・ 不十分と思いました
- ・ 受講者によりました
- ・ 概ねよかった
- ・ 知識は十分でした

#### 3)到達項目について、到達できたと思いますか？



### -その他の意見-

- ・ 全体的に緩い感じでした。受講生の皆さんがこの程度でできたと思われるとすると心配です。
- ・ よく、勉強しました。

## 【インストラクターについて】

### 4)自身はどうでしたか？

- 感染防御の兼ね合いが難しい。
- 指導は難しいと感じた。久々だと特に。
- レベルに合わせて時間を割くところと省略するところを調整する様気を付けたが、時間をオーバーしてしまった。
- 基本手技不十分に対する介入が十分には出来なかった。
- ぼちぼちでした。
- 久しぶりの直接指導で、テキストをみながらのところもありました。

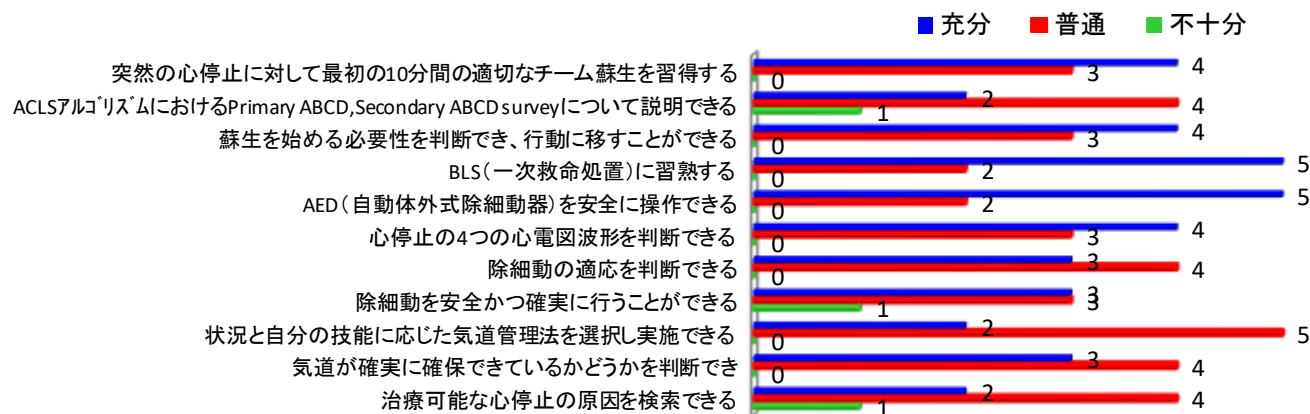
### 5)同僚のインストラクターはどうでしたか？

- 熱心でインタラクティブ。
- 上の先生方の指導法はとても勉強になった。
- 自分の不足している部分を補ってくださいました。
- 色々助けていただきました。
- 勉強になりました。
- 非常によかった。

### 6)アシスタント、チューターはどうでしたか？

- 完成度高い。
- 自分の指導スタイルができており、頼れる感じでした。
- 積極的でよかった。
- アシスタントとは別の部屋でよくわかりません。

### 7)到達項目を十分教えることが出来ましたか？



### 8)講習会全体について

1. 講習時間について 全員適度
2. 指導内容(量)について 全員適度
3. その他意見
  - 時間配分が、少し甘い。端折る事も必要。

### 9)運営者について

#### 1. 当日の運営はどうでしたか？

- 特に不便なく出来た
- スムーズでした。(2名)
- 問題ありません
- 良かったです

#### 2. 当日までの準備はどうでしたか？

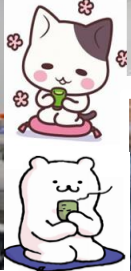
- 必要なものが不足なく準備されていました。
- 問題ありません(2名)
- 良かったです(2名)

### 10)今後のこの会についてひとこと

- まず継続していしたい！(2名)
- また、参加します
- よろしく願います



# フォトギャラリー



長崎大学病院 長崎外来医療教育室

地域医療支援センター ・ シミュレーションセンター

〒852-8501

電話 (095) 819-7346

長崎市坂本1丁目7番1号

FAX (095) 819-7379